

学習指導要領

- 児童に生きる力をはぐくむことを目指す
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得
 - ・ 基礎・基本の知識を活用し課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ
 - ・ 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

学校教育目標

- ・ あかるい子（温かい心と思いやりの心を持つ、素直な子）
- ・ かしこい子（基礎基本を身につけ、状況に応じ、自ら判断できる子）
- ・ たくましい子（継続してやり抜く強い意志と身を持つ子）

教師の悩み・課題・願い

- ・ 学習への意欲を持たせて授業に向かわせたい。
- ・ 話し合いの時間をしっかりととり、友とのかかわりの中で学び取っていかれる子にしていきたい。
- ペア学習の質の向上・共同追究の場での児童の考えのつなげ方・共通点相違点に着目しながら聞かせていくこと
- ・ 理解力に差がある子ども達への一斉指導が難しい。
- ・ 児童の姿から授業展開を考えていきたい。

児童の実態

- 学習に対してまじめに取り組む子が多い。
- 考えることが好きな子が多い。
- 言われたことはできるが自分から進んで考えを深めたり広げていかれる子が少ない。
- C R Tでは、全国平均に比べ、知識理解の高い学年は関心意欲がやや低く、関心意欲の高い学年は知識理解がやや低い傾向にある。
- 自ら友とかかわり、自分の考えを深めたり集団の考えを発展させていこうとすることが苦手な子が多い。

学習活動を通してめざす子どもの姿

- ・ 友との関わりの中で、自分の考えと他者との考えの共通点や相違点に着目し、思いを表出しながら、考えを広げたり深めたりしていくことができる子ども

全校研究テーマ

友とかかわりながら自ら考え学びをつなげる子ども

基礎・基本の定着

- ドリルの時間の確保
- ICT 機器の活用
- 家庭学習ノートの指導
- 話し方の指導

今年度の重点

- 事実などを正確に理解しわかりやすく伝えることができるようにする。
- 考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させることができるようにする。
- 基礎・基本の定着をはかる。

研究体制

- 連学年会による研究
- ・ 低学年部会
 - ・ 中学年部会
 - ・ 高学年部会

学び合い

事実などを正確に理解しわかりやすく伝える

- 課題・調べた結果・友達の意見等を主観にとらわれずに理解する。
 - ・ 視点を持たせる・適切に情報を取り出せるようにする
- 課題・調べた結果・友達の意見を的確にわかりやすく伝える。
 - ・ 自分や伝える相手の目的や意図をとらえるようにする・目的や意図に応じて整理させる・構成や表現を工夫しながら伝えるようにする

学習形態の工夫
個別学習・グループ学習（ペア学習）・全体学習

考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させる

- 事実などを解釈し、説明することにより自分の考えを深める
 - ・ 経験や知識と結びつけて解釈し考えを持たせる・理由・結果などが言えるようにする・自分の考えと他者との考えの違いをとらえ吟味させる
- 考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させる
 - ・ いろいろな考えがあることに気づかせる・いろいろな考えには根拠や前提条件の違いがあることに気づかせる・それぞれの考えの異同を整理し自分の考えや集団の考えを発展できるようにする

連学年会

学年の状況に合わせて、全校研究テーマに基づいた研究を行う。
（前半は国語科算数、10月以降）

一人一研究

研究テーマ・学年テーマにあわせ個々に考え実践する。

授業力の向上

「ねらい」・「ねらい」の提示 「めりはり」・「ふれる・関わる・考える・感じる場をつくる」
「みとどけ」・「見返しや発展問題・定着問題を行う時間を確保する。」